

旭区役所



改善通信

* 巻頭言	P1~4
* 生活支援 レイアウト変更	P4~5
* ホームページ・ぶちPT	P6~7
* 編集後記	P8

平成 27 年 1 月 28 日

Vol. 6

旭区役所改革支援チーム

カイゼン、全区展開へ！

by 抵抗勢力 T&H



旭区でやってきたカイゼン活動、全区へ展開する言うてたがホンマかいな？



ホンマやで。副区長が区長会の部会で説明してきた言うてたで。



ほんなら旭区は、先進地やな。カイゼン先進地や！



な～にが先進地や。お前カイゼンってホンマに知っとるんか？



そいゃ、知っとるよ。あれやろ？風邪のときにのむヤツやろ？



そうそう、「風邪ひいてまんねん」言うてな。アホ、それは改●や！
カイゼンっちゅうのは業務の水準を上げていこいうこっちゃ。



そういや、3階の床、業者に頼んだら何百万円もかかるっちゅうのを職員みんなで絨毯張ってきれいにしてはったな。2階もごみごみしていた支援の部屋見たか？えらい広なって、同じ部屋とは思えへんで。あれが改善なんか？



せ、せやな、まゝそれも改善と言えよ改善やな(ぶっちゃけ、わしもようわからんけど)。でも、区長は別なこと喜んどったな。部屋にみんなでじゅうたん敷いてきれいにしたことも、支援が配置替えしたことも喜んどったけど、自分らで決めてやったことをえらいってほめとったわ。



な～んや、けったいやな。成果主義っちゅうのは、結果が褒められるんとちゃうんかいな？



カイゼンは、単に問題を解決することとは別みたいやな。問題の解決は、解決したら終わりや。でも、カイゼンっちゅうのは、常にレベルを上げようとするこことやから終わりがなし、キリがないんやて。せやから、部屋がきれいになった、広なったということより、

みんながそれを目指したことをえらいって褒めとったわ。やっと動き出しましたね、やって。



そうかあ。それで、区役所の周りの清掃より、絨毯張りが評価されなかったことにえらい怒ったんか。ええことやったっちゃう点、区長流に言えば「価値を生んだ」っちゃう点ではどっちもおんなじや。でも、みんなが工夫してやったっちゃう点では違うわな。



区役所の人員がまた何%か減るらしいから、それでもやれる仕組みにしようとしてるんや。



また減んのかいな！？仕事多いのにみんな大変やで。それでやっていけるんかいな？



カイゼンみたいな取組やっている区は、旭と阿倍野らしいな。それをみんなでやるようになったら、だいぶちゃうやろ？人をくれ、金をくれいってたら、今までのやり方とどこがちゃうねんって言われるからな。



区役所もこれまでとは違うけど、どんどん仕事が増えてかなわんと言う声も聞こえてくるからなあ。あれもこれもやりたい言うても、成果に比べてコストがえらいなら、アカンわなあ。



せや、そこや。ほんまにお金かけなでけへんのか、やり方はほんまにそれでええんか、そういう視点を持たなあかんっちゃうのが、カイゼンのねらいやって区長言うてたわ。

ムダ取りやっていくうちに、そんなやり方でええんやろか、っていうようになる。そうなったら、カイゼンは続くわな。そんで、そういう組織に変われば、あとはもう心配ないっちゃう話や。それが目指すものですよ、やて。区役所でやって、次は市役所全体がそうなれば、大阪市はもっともっと良くなる、そう思ってる。



そんでわしら、何かええことあんのかいな？



区長いつも、言うてるやろ。 $2/3 \times 3/2$ ってやつや。



なんやそれ？



仕事を3分の2に減らしたら、職員の数も3分の2で済むやろ？なら仮に給料を2分の3、つまり1.5倍にしても、総コストは同じやっちゃうわけや。



給料1.5倍にしてくれるんか。そんならわしは大賛成や！頑張って仕事するでえ。



あほ、仮の話や。1.5倍は無理や。



なんで？



お前、いくらあほでもこれくらいは分かるやろ。 $2/3 \times 3/2$ はなんぼや？



簡単や。1や



だからダメなんやて。



だから、なんでや？



ええか。1ってことは、わしらの給料は1.5倍になるけど、結局総コストは最初と変わらんっちゃうことや。わしらだけがそんなええ思いして、区民の方々がよろしいと言うてくれると思うか？



そいや、あかんな。



せやろ。そやさかい、区長は、 $2/3 \times 4/3$ や言わはるんや。9分の8や。わかるか？ 9分の8というのは、総コストが1割以上も下がるということや。つまり、住民にとってもそれだけのメリットがあるということや。なら、区民の人も、認めてくれはるかもしれん。



なるほどな。仕事減らして、給料が高くなるんならええな。



ちゃうて。それでやってけるわけないやろ。せやのうて、今の大阪市はまだまだ財政が厳しくて、将来に向けた投資的なことには経費がつぎ込めへん。だから人も減らさなあかん状況や。せやけど仕事の量がそのまま人減らしたら、仕事はキツなるし、残業増えたらかえって金かかるやろ？ 住民サービスかて窓口の職員減ったら区民の待ち時間が増えて、質が低下する。

だから、まずとにかくいらん仕事を徹底的に減らそうってことや。ほんまに必要なものに絞っていこ、言うてるんや。そんでもって、仕事減ったら、そこの職員いらなくなって、他へ使えるようになるかな。そしたらあんまり採用しなくてもやっていけるやろ。職員の数が減ったらコストも下がるやろ。今までの1.5倍仕事やったら、その分給料もあげてくれるということや。



うわ、仕事も1.5倍になるんか。きついなあ。



そいやそうや。楽しんで給料上がるわけないやろ。それなりにしっかり仕事やったら、給料も上がる。そういうこっちゃ。わしは、給料上がった方がええな。給料あげてくれたら、頑張るで！



まあ、わしもどっちか言うたら、給料上がって、仕事もバンバンする方がええな。給料上がらんうえ、カットやいわれたら、なんか悪いことしたようで、元気出んわ。



せやけど、市民の目からしたら、職員がいろいろ問題起こして、何しとんねん、って感じやろ。わしらがやったわけではないんやけど。



そういっても、市民の目は厳しいからなあ。職員もようやとるさかい、給料くらいあげてやらいなって、はよ言われたいもんやなあ。



ほんま、そやなあ。がんばるしかないなあ。



ん？なんか最近えらいまともなこと言うなあ。おまえ、抵抗勢力やめたんかいな？



そんなことあれへん。おかしいのはおかしいってしっかり言うていだけや。



それは、そうか。それにしても早せなあかんわ。



なんでや？



わし定年まもなくなんや。給料はよ上げてもらって逃げ切り作戦や！



こいゃ、あかんわ。

生活支援担当

レイアウト変更しました！

平成 26 年 12 月 27 日、前日で御用納めを終え年末年始の9連休に突入した日、約 40 名が休日勤務をしてレイアウト変更を行いました！

大量の机やロッカーの移動、総合福祉システム機種更新や庁内端末の LAN ケーブル移設等、膨大な作業量でしたが、職員が一丸となって取り組むことで想定外の事態も克服し、予定時間内で作業完了することができました。

私たちの思いを 100% 反映できたわけではありませんが、職員の動線も考慮しながらスペースを広く取ることができ、仕事がしやすい環境になったと感じています。

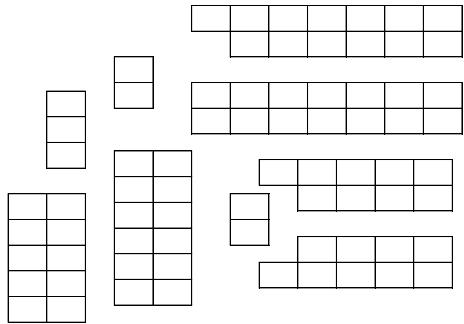
生活支援担当は、民間従事者の方も含めて約 70 名、いろんな職種の方が一緒に働いており、区役所のどの課・担当よりも人数が多い大所帯です。そのため、担当内にチームが複数あり、連絡調整に手間が掛かることも多々ありますが、チーム内やチーム同士の連携意識が強く、ひとつの目標に向かって結束した時のエネルギーは凄まじいものがあります。

生活支援担当以外で仕事をしておられる区役所職員の中には、「生活支援担当って、何か近づきにくいな。」「怖そうなイメージがある。」「何か苦手だな。」と感じている方もいらっしゃるかもしれません。

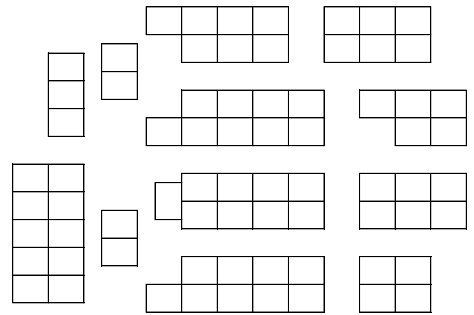
ですが、そんなことはありません！「賑やかで楽しい職場」ですよ♪

写真や図では、Before・After がわかりにくいかもしれませんが、興味を持ってくれた方は、見学も兼ねて、ぜひぜひ生活支援担当まで足を運んでみてくださいね！

Before



After



机の後ろが広がって仕事がしやすくなった！！



ホームページ・プチPT始動！

～旭区HPをより見やすく、わかりやすく～

突然ですが、皆さんは旭区のHPのアクセス数をご存知でしょうか？

なんと大阪市24区中 **NO. 1** なのです！

本当にたくさんの方が日々アクセスしてくださっている旭区のHPですが、昨年のある日のお昼休み、若手職員同士でこんな会話がありました。

職員A「旭区のHPっていろいろ情報あるけど、なかなか欲しい情報にたどりつけくない？」

職員B「そういえばそうですね。デザインもちょっとインパクトに欠けますよね・・・」

職員A「担当じゃないからいじったことないけど、自分たちでもっと市民の皆さんが見やすいページにしたいね。ちょっとPT立ち上げてみる？」

職員B「いいですね！やみましょう！」

こうしてHPを変えるべく、若手を中心にプチPTが立ち上がりました。

旭区はアクセス数1位に満足することなく、市民の皆様のため、さらなるHPの改善に挑戦していきます！ PTメンバーだけでなく、各課HP担当者のみなさんもぜひご提案ください。

話し合っていること

- ・他区との比較(ベンチマーキング)
- ・欲しい情報へ直観的にアクセスできるようにする
- ・ストック情報とフロー情報の整理 etc...



メンバー

浜角聡	保健福祉課(地域福祉)	志賀有花	市民協働課(にぎわい創出)
小村佐良子	保健福祉課(保健衛生)	酒井修平	総務課(広聴広報)
八木新	保健福祉課(介護保険)	川村俊彦	窓口サービス課(戸籍)

現在ランチミーティングを中心に楽しく活動しています♪

メンバーにはHPを触ったこともない人もいますので、どなたでも気軽に参加OKです。

試行錯誤しながら、昨年初めて編集にかかりました。

今回はそのほんの一部をご紹介します。

改修前



「主なサービス」欄がたくさんあり、必要な情報がどこにあるのかわかりにくい状態。



改修後



「主なサービス欄」を整理し、アイコンを新設するなどし、より視覚的にもわかりやすく！

編 集 後 記



新年あけましておめでとうございます。

さて、今回の編集後記は年明けということで、巻頭言にもありましたが、今一度改めて「改善」について考えてみたいと思います。

今年度から改革支援チームの一員として、所属課や様々なPTで改善活動に取り組んでまいりました。

改善活動は決して改革支援チームだけが行うものではありません。人員も少なくなる現状では、皆さん全員が改善の必要性を自覚し、現状に満足するのではなく、日々改善に努めなければなりません。

しかしながら「改善」と聞くと少々重たく感じないでしょうか？日々の業務だけで忙しいのにあれもこれもやれとなると、改善とか考えるだけでも面倒くさい…と、こうなりますよね。

これは非常に切実な問題です。当初私自身も自分の業務が繁忙な時は業務改善なんて…と思ってしまうことがありました。

しかし面倒くさかみの私は逆に、そもそも何故繁忙なのだろうと考え、ちょっとでも楽に、早く、そして正確に業務をできないだろうかと思案してみることにしています。

仕事が増えるのではなく、逆に楽になる。これは素晴らしい話ではないでしょうか？

自分の動線に合わせてレイアウトをちょっと合理的に変えてみる、身の回りを整理する(5S)、良く分からないけど情性でやっている業務手順を見直す etc… これらは立派な改善活動です。

日々少しずつ千りのような改善を重ね、業務をより効率的に、より正確に行える環境や仕組みを作る。それこそが何よりも大切な改善活動であると私自身は思っています。

良かれと思って何か新しいことを始めても、意外と面倒なこともあったりして、途中でしんどくなってしまったりすることはないでしょうか。しかしまず自分の仕事が少しでも楽になれば時間にも心にも余裕ができます。そうしてできた余剰を、職場をより楽しくしたり、市民の役に立つ活動に充てたいことができるのではないのでしょうか。

「改善」と聞いて、何か新しいことを始めるよりも、まずは自分の周りのちょっとしたムダ、ムリ、ムラをなくすことから始めてはいかがでしょうか？「随分始めよ」ですね。

今年は改革支援チーム以外の方々にも広く改革改善マインドを持ってもらうべく、情報発信PTでは改善通信を発行してまいります。

どうぞよろしくおねがいいたします。

八木



編集(改革支援チーム情報発信 PT)

総監督:吉岡 敏秀 総務課企画調整担当課長

河野 竜一 保健福祉課(生活支援)

八木 新 保健福祉課(介護保険)